

登録コード	E2523900	開講年度	2026				
授業科目	彫刻基礎					担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Basic Sculpture					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限～5時限前半	対象学生	
講義室	教育N110			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					美術教育の重要性と可能性を理解し、立体造形活動において安全で的確な指導が出来るようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					彫刻表現における基本素材と技法の理解ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	基本的な彫刻技法を実制作を通して学び、彫刻芸術における様々な造形要素及び表現効果について理解する。彫刻表現の概論を学び、モデリングとカービングを実践することで、三次元で表現するための基礎力を習得する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス・様々な彫刻表現 第2回：制作 アイディアスケッチとエスキース 第3回：可塑材によるマケット制作 第4回：カービングによるマケット制作 第5回：制作 実材彫刻の基礎（木彫について） 第6回：木取り（材の準備） 第7回：墨入れ 第8回：粗彫り・木工機の安全講習 第9回：刃物の特性と手入れ 第10回：木の性質と彫刻表現 第11回：中彫り 第12回：仕上げに向けて 第13回：着色とその効果 第14回：仕上げと講評（授業アンケート） 作品提出 教育実習による授業の欠席については、別途補講を行う。						
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（50％）、授業への取り組みや学習状況50％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（ ）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ ）素材やその技法を効果的に生かし、（ ）基礎的造形性の把握ができており、（ ）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（ ）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。						
(9)履修上の注意	制作において作業に適した服装と材料費が必要となる。 制作に必要な用具と材料は各自が購入する。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	映像資料や作品集、参考作品などを随時紹介する。						